佐倉市立根郷中学校

明日に向かって

R8.10.30　No.7
発行責任者
文責

「『助けて』と言える力～受援力と自立～」

校長

私たちは日頃、「世のため、人のため」という言葉を耳にします。家族や友人、地域の方々とのつながりの中で、互いに支え合う「互助」の文化は、日本の大切な財産です。しかし、人を助けることには積極的でも、自分が困ったときに「助けて」と言うことには抵抗を感じる人が少なくありません。

近年、「受援力（じゅえんりょく）」という言葉が注目されています。これは、困ったときに周囲を頼り、助けを求める力のことです。もともとは防災の分野で使われていましたが、勉強や仕事、人間関係など、さまざまな場面で大切な力とされています。



「自立」と聞くと、何でも一人でやり遂げることを思い浮かべるかもしれません。しかし、本当の自立とは、一人で抱え込むことではなく、必要なときに適切にSOSを出し、周りの力を借りながら自分で考え、行動することではないでしょうか。そのためにも、助けを求める勇気を持つことが大切です。

後期が始まり、委員会や学級の係活動など、新しい取組がスタートしました。よりよい集団をつくるためには、お互いの思いや考えを伝え合う「対話」が欠かせません。相手の話によく耳を傾け、自分の考えも伝えることを意識してほしいと思います。そして、困ったときには一人で悩まず、周囲に相談できる「受援力」を育んでいってほしいと願っています。

＜お便りについてのお知らせ＞

後期より、学校だより、学年だより、学級だより、保健だよりにつきましては、マチコミでの配信へ変更させていただきました。年度途中での変更となり、ご不便やご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

１１月　主な行事予定

※SC→SC相談日 9:00~16:00　多様→多様な学びの相談員出勤日

日	曜	校内行事	日	曜	校内行事
1	日		１６	月	１，２年定期テスト③追試験
2	月		１７	火	全校評議会 SC 多様
3	火	文化の日	１８	水	全校進路指導委員会 多様
4	水	３年定期テスト③	１９	木	学年評議会・生徒委員会 多様
5	木	３年定期テスト③ 多様	２０	金	３年三者面談① 多様
6	金	３年定期テスト③追試験 多様	２１	土	
7	土		２２	日	
8	日		２３	月	勤労感謝の日
9	月	試験前諸活動停止（～13 日） 多様	２４	火	３年三者面談②
１０	火	第２回学校運営協議会 SC 多様	２５	水	３年三者面談③ SC 多様
１１	水	生活アンケート　印旛地区音楽発表会	２６	木	３年三者面談④　３年生５時間 多様
１２	木	１，２年定期テスト③　薬物乱用防止教室 給食なし 多様	２７	金	３年三者面談⑤　１･２年生学習のあゆみ配布 多様
１３	金	１，２年定期テスト③　３年学習のあゆみ配布 給食なし 多様	２８	土	
１４	土		２９	日	
１５	日		３０	月	多様

生徒会役員選挙

１０月５日（月）に、生徒会役員選挙が行われました。立会演説会では、市の選挙管理委員会から投票箱や投票箱設置台、記載台をお借りし、実際の選挙に近い形で投票を行いました。生徒たちは候補者の演説に真剣に耳を傾け、一票に思いを込めて投票していました。投票・開票作業も、選挙管理委員の指示のもと円滑に行われ、生徒一人一人が民主的な手続きについて学ぶ貴重な機会となりました。第３０期生徒会役員を紹介します。

［ 生徒会長 ］　　［ 副 会 長 ］

［ 本部役員 ］

合 唱 祭

１０月２７日(火)に佐倉ハーモニーホールにて合唱祭が行われました。どのクラスも練習の成果を十分に発揮し、素敵な合唱となりました。お忙しい中、保護者の皆様のご参観ありがとうございました。

【最優秀賞】
３年１組
「青い鳥」





【優秀賞】
３年２組
「決意」

【優秀賞】
２年２組
「生きている証」



全国学力・学習状況調査結果における本校の結果考察

【 国語 】

全体的には、県平均・全国平均をほぼ上回る結果を得ることができているので、基礎的・基本的な知識の定着が見られる。ただ、知識及び技能領域の「情報と情報の関係の様々な表し方を理解して使うこと」には若干の課題が見られた。より広い視点から情報の内容を捉えられる力が必要である。また、同領域の「文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと」や、「語句の辞意的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること」にも課題が見られることから、日々の授業の中で、語句に着目し、その語句が文や段落においてどのような役割を果たしているのかを考えることが大切である。

【 数学 】

４項目全てで千葉県の平均、全国の平均を上回る結果を得ることができているので、基礎的・基本的な知識の定着が見られる。「データの活用」領域（特に資料の活用）では各設問で全国平均を上回っており、高い定着率である。誤答分析の結果から記述式の設問では、無解答の誤答が目立つことから、自分の考えを表現する力やあきらめずに問題に取り組もうとする態度に課題がある。よりその力をつけるためには日々の授業の中から記述の問題や、説明し合う活動・対話を積極的に行うことが大切である。証明の選択式問題では、誤答の種類が様々であるとの結果が出ており、課題がある。

【 英語 】

３技能に関しては、問題形式を問わず、全体的に良好であった。点数の分布グラフも、山型になっており、偏りなく多くの生徒が基礎的・基本的な知識を定着できているといえる。「話すこと」では、県平均、全国平均に対して大きく上回っているのが「話すこと(やりとり)」である。授業では長い時間で準備をする発表よりも、帯活動などを通じた言語活動をすることでこれらの力が定着できているのではないかと考えられる。また、ALT がおこなっている活動に生徒が意欲的に授業に参加している事も要因である。一方、「話すこと（発表）」においてはそれを下回っている。「自分の町を訪れるのにおすすめの季節を話す」問題で誤答が目立っている。短い会話練習だけでなく、まとまった内容の意見を伝えられることが課題となる。